

地域に根づき、元気をあす分け ～ふるさと しぽーと～

早掛平で納涼夏祭り！

8月13日の午後5時から8時まで、早掛平集会所を会場として夏祭りが開催され、住民や関係者など約80人が参加しました。

早掛平の夏祭りは、令和元年まで稲荷神社で盆踊り大会と称して開催される毎年恒例の行事でした。近年はコロナで開催できず、ここ数年は天候不良のため中止となっていました。しかし今年こそは開催したいと早掛平成年会が中心となり、早掛平部落会の協力を得て6年ぶりに開催することができました。会場では、焼きそば・焼き鳥・ビール・ジュースが提供され、参加者は帰省した家族や友人との再会を楽しんでいました。また、ラムネ早飲み競争やスイカ割りには、幼児から高校生までのこどもたちが多数参加し、大いに盛り上がりしました。

夏祭りを経験していない子も多かったため、地域の人と触れ合うことの楽しさを知ってもらえたと思います。参加したこどもたちが将来的に地域行事の担い手となっただき、早掛平の夏祭りがこれからも続くことを願っています。



夏祭りの様子

集落支援員→活動レポート



委嘱された高橋さん



意気込みを語る高橋さん

今回は、9月から新たに東通村集落支援員として委嘱され、買い物支援車わんつCARで移動販売や見回り等を行うスタッフとして活動して下さる高橋 海里さんを紹介します。

村では国の制度である集落支援員制度を導入して3年目となり、その制度を活用し買い物支援車わんつCARを運行しています。

全国的な高齢化や独居世帯が増えていることもあり、“わんつCAR”の運行を行いながら、地域の見守りやコミュニティの醸成を図っています。

今回の委嘱については、買い物支援の向上や地域の見守り強化を図る目的にもなっています。

これからも、わんつCARを通して、沢山の方と出会い・繋がりながら、今まで以上に集落・村民に寄り添った“買い物支援”“見守り”を行えるよう、これから尽力していただきたいと思います！